

## 序

厚生省心身障害研究の一部門として「小児慢性疾患の診断・治療・管理に関する研究班」が昭和58年度から新たに発足した。この班は次の6つの研究課題がふくまれている。

1) 慢性腎疾患の診断・治療に関する研究

研究者 酒 井 糾

2) 小児膠原病の診断・治療に関する研究

研究者 渡 辺 言 夫

3) 小児白血病の治療に関する研究

研究者 植 田 穰

4) 小児糖尿病の治療法の社会適応に関する研究

研究者 日 比 逸 郎

5) 小児慢性心疾患の診断・治療・管理に関する研究

研究者 高 尾 篤 良

6) 脳性麻痺の治療に関する研究

研究者 丸 山 勝 一

これらの研究はもとより多数の研究協力者を得なければ十分の効果をあげ得ない。実際には研究協力者の協力者も多数必要である。

ここには先ず初年（昭和58年）度のそれぞれの研究課題について研究報告の総括を研究者に展望して頂き、それぞれの「総括」の項に研究協力者名を列記した。担当された研究項目の研究協力者に協力された方の姓名は各研究報告のなかに連記されている。

研究課題についての成果が多く報告されており、これらの業績は多数の協力者の賜であるが、これらの研究が十分に実りあるものとなって、慢性疾患児の診断・治療・管理についての当面の“基準的”見解として、多数の人の賛同が得られるよう大きな期待を持つものである。

昭和59年3月

小児慢性疾患の診断・治療・管理に関する研究班

主任研究者 植 田 穰